



浜須賀中学校だより

茅ヶ崎市立浜須賀中学校
学校だより No. 9

2025年 11月7日
校長 尾木 左紀子

～自律 共育 貢献～

●「全国学力・学習状況調査」結果分析概要のお知らせ

令和7年4月14日(月)17日(木)に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が発表され、全国の各学校に調査結果が提示されました。対象は現3年生で、今年度の実施教科は国語・数学・理科でした。また、理科と生活習慣などの実態を把握するための生徒質問紙による調査はオンラインでタブレットを使って行いました。その後、9月中旬には生徒の皆さんに個人の結果を返却させていただきました。今回は、本校の3年生徒の皆さんの学力や生活習慣などの傾向を全国の調査結果と比較しながら分析しました。ここでは、その分析結果を報告させていただくとともに、今後の教育活動のための資料として活用していくことが重要であると考えております。

1 学力調査より

国語

国語は、思考力・判断力・表現力に関する出題の中で「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域のうち、「読むこと」についてはいずれも国・県の平均正答率を上回っておりました。

学習内容がよく理解されていると思われる項目として、「相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる」「自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して話の構成を工夫することができる」「文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる」が全国・県平均よりも高い正答率となっていました。

その一方で「事象や行為を表す語彙について理解している」「読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整える」に関してはやや課題がありました。様々な文章の中で事象や行為を表す語彙を理解して適切に使ったり、読み手の立場に立ち、漢字や語句を正しく表現するための学習を充実させていく必要があると考えられます。

記述式の問題については正答率がかなり低く、これは県・全国の平均正答率とほぼ同じような結果となり、大きな課題です。

生徒質問紙の結果を見ると、「学校の授業時間以外に1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか」に対し「10分以上 30分未満」が一番多く、「10分以上 30分未満」「10分以下」「全く読まない」と解答した生徒の回答率を合計すると過半数を超える結果となっています。日頃から教科書以外の様々な文章を読むこと、そして筆者が何を伝えようとしているか、落ち着いて考えることも読解力を伸ばすきっかけになるかと思われま。

数学

数学は「数と式」の領域において国の平均正答率を上回っていました。

学習内容がよく理解されていると思われる項目として、「相対度数の意味を理解している」「事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることができる」「目的に応じて指揮を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明できる」「事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができる」「証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすことができる」があり、全国または県平均よりも高い正答率となっていました。

その一方で、「素数の意味を理解している」「一次関数 $y=ax+b$ について変化の割合を基に、 x の増加量に対する y の増加量を求めることができる」については正答率がやや低く、基本的な知識の定着に課題が見られました。

また、記述式の問題についても正答率が低く、これは県・全国の平均正答率とほぼ同じ割合であることから、全国的にも課題であり、教科は違いますが国語でも同じ現象が見られます。数学的な思考力・表現力を身につけるためには日ごろから1つの問題をじっくり一人で考察する、考察したことを友達と学びあい、さらに考えを深めるなどの練習をこれからも地道に粘り強く続けていくことが必要であると考えられます。

理科

理科は4つの領域「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」から出題されましたが、全ての領域において県・全国の平均を上回っています。

特に学習内容がよく理解されていると思われる項目として、「電熱線で水を温める場面において回路の電流電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能が身につけている」「水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物を問うことで、生命を維持する働きに関する知識が概念として身につけている」「科学的な探求を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できる」「ガス警報器の設置場所が異なる理由を考える学習場面において、実験の様子と密度に関する知識及び技能を関連付けて、それぞれの気体の密度の大小関係を分析して解釈できる」「化学変化に関する知識及び技能を活用して、実験の結果を分析して解釈し、化学変化を分子や原子のモデルで表すことができる」「分解に関する身近な事象を問うことで、これまでに学習した理科の知識及び技能を基に、化学変化の分解の知識が概念として身につけている」「気圧に関する身近な事象を問うことで、気圧の知識が概念として身につけている」は県・全国平均を上回る正答率でした。生徒質問で「理科の授業では実験や観察をよく行っていますか」に対し94%の生徒が「あてはまる」と答えており、県・全国平均を大きく上回っていることも学習の成果につながっていると思われます。

2 質問紙調査より ※「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合

※ 下線をしている部分のは全国平均を上回っている事を示す
 ※ ◎は昨年と同じ質問

◎朝食を毎日食べていますか → 88.5% (全く食べない → 3.8%)

◎毎日、同じくらいの時間に寝ていますか → 73.7%

◎自分にはよいところがあると思いますか → 88.5%

◎先生はあなたの良い所をほめてくれますか → 89.3%

◎将来の夢や目標を持っていますか → 72.4%

◎いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思いますか → 92.3%

◎人の役に立つ人間になりたいと思いますか → 96.2%

◎学校に行くのは楽しいと思いますか → 88.1%

◎普段の生活の中で幸せな気持ちになることはありますか → 91.9%

◎普段(月～金)の学校以外での学習時間はどれくらいですか
 (塾・家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間を含む)

・3時間以上 → 18.7% ・2～3時間 → 38.3% ・1～2時間 → 19.6%

・30分～1時間 → 11.1% ・30分未満 → 4.7% ・0時間 → 6.8%

○普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、ICT機器を勉強のために使っていますか

・3時間以上 → 1.7% ・2時間以上 → 2.6% ・1～2時間 → 12.8%

・30分～1時間 → 22.6% ・30分より少ない → 31.1% ・全く使わない → 24.3%

○学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間読書を読みますか(電子書籍を含む・教科書、参考書は除く)

・2時間以上 → 3.4% ・1～2時間以上 → 4.7% ・30分～1時間 → 11.5%

・10分～30分 → 17.4% ・10分より少ない → 17.0% ・全くしない → 39.1%

- 学級との生徒との間で話し合う活動を通して自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたり
 することができていますか → 85.1%
- 学習した内容について、わかった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることが
 できていますか → 78.3%
- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決
 に取り組んでいますか → 93.2%
- ◎人の役に立つ人間になりたいと思いますか → 96.2%
- ◎地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか → 71.5%

3 まとめと分析

今年度、「朝食を毎日食べていますか」「毎日同じくらいの時間に寝ていますか」という質問については、昨年度よりもポイントが下がっています。基本的な生活習慣の定着は生徒の皆さんの健康安全面においても必要不可欠です。生活のリズムを整えるよう、ご家庭のご協力をお願いいたします。

「自分によいところがあると思いますか」という問いに対しては昨年度を上回り、9割近くの生徒が自己肯定感が高い傾向にあることがわかりました。将来の夢や目標を持っているかについても、昨年度より少し上がっています。今後も生徒の皆さんが希望をもって自分の進路を考えることができるように生徒の皆さんとの相談活動の充実を図っていきたいと思います。

また、学校以外での学習時間については全国平均を上回っており、2時間以上学習をしている生徒が過半数を超えています。反面、1日に読書する時間が「10分以下」～「全くしない」と答えている生徒が過半数を超えているのが気になります。学校では毎朝、読書をしていますが、学校にいる時間が長く、帰宅しても忙しい中学生の皆さんにとって読書の時間をあえてとるのは難しい現状があります。

また、「人の役に立つ人間になりたい」という願いは昨年度と同様に強い一方、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と思う人の割合は少し下がっています。最近、地域のボランティアに参加する生徒が少なくなってきました。中学生の皆さんが日々忙しいのは十分承知しておりますが、普段気づかないところで地域の方に見守られています。また、今後起こりうる災害の時に地域の方と知り合いになることの大切さも感じています。ぜひ、少しでも時間があれば地域に目を向けてもらえたいと思います。

今後も将来の夢や希望を持つことができるような場面を少しでも多くつくり、自信を持って中学卒業後の進路に向かって進んでいけるように支援をしていければと考えております。